



PRAP JAPAN, Inc.

JASDAQ

証券コード

2449

平成23年8月期 第2四半期決算説明会

平成23年4月22日

株式会社 プラップジャパン

© 2011 PRAP Japan, Inc. All rights reserved.

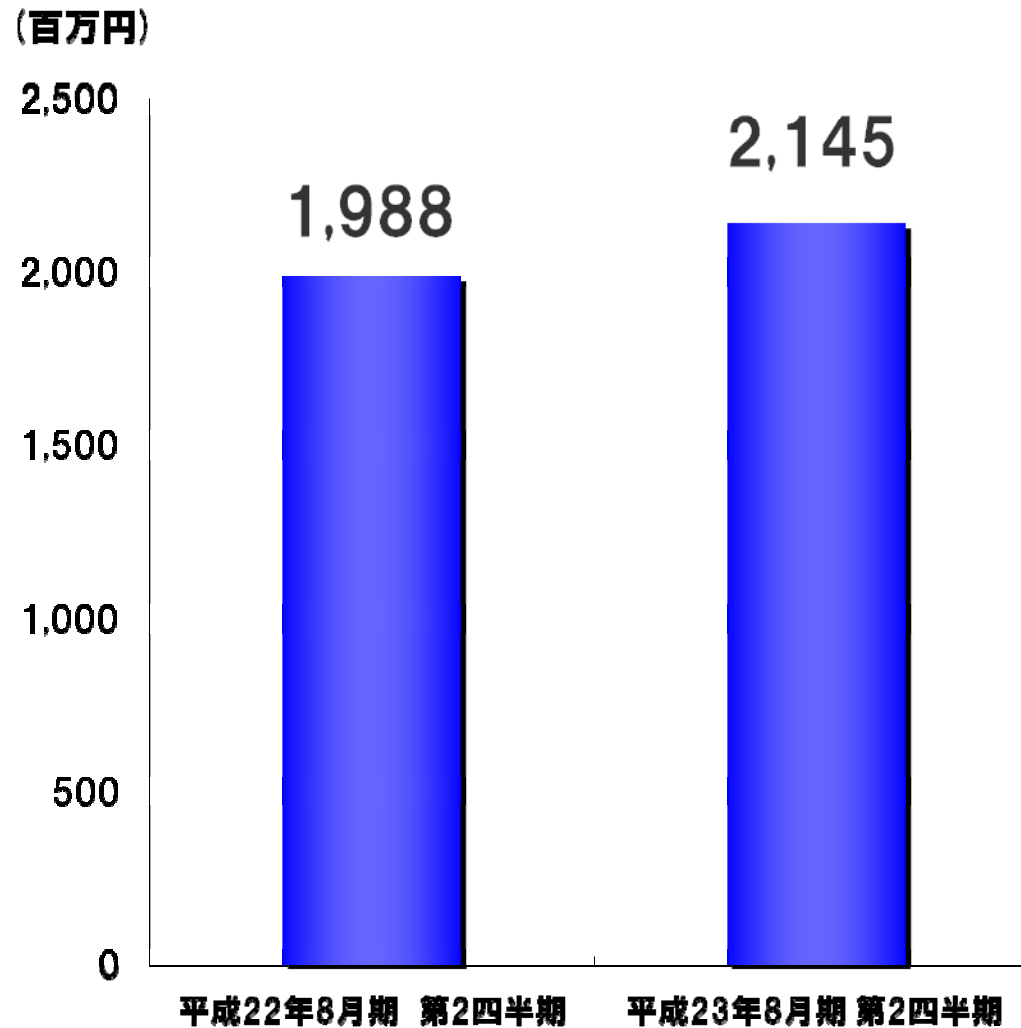
平成23年8月期 第2四半期 連結業績の概況①

(単位：百万円)

	平成22年8月期 第2四半期 実績	平成23年8月期 第2四半期 実績	前期比	予想比
売上高	1,988	2,145	+7.9%	+17.6%
営業利益	240	259	+8.3%	+61.9%
経常利益	226	264	+16.9%	+70.0%
四半期純利益	121	113	▲6.8%	+117.4%

※予想比は平成22年10月15日発表の「平成23年8月期 第2四半期連結累計期間 業績予想」との差異

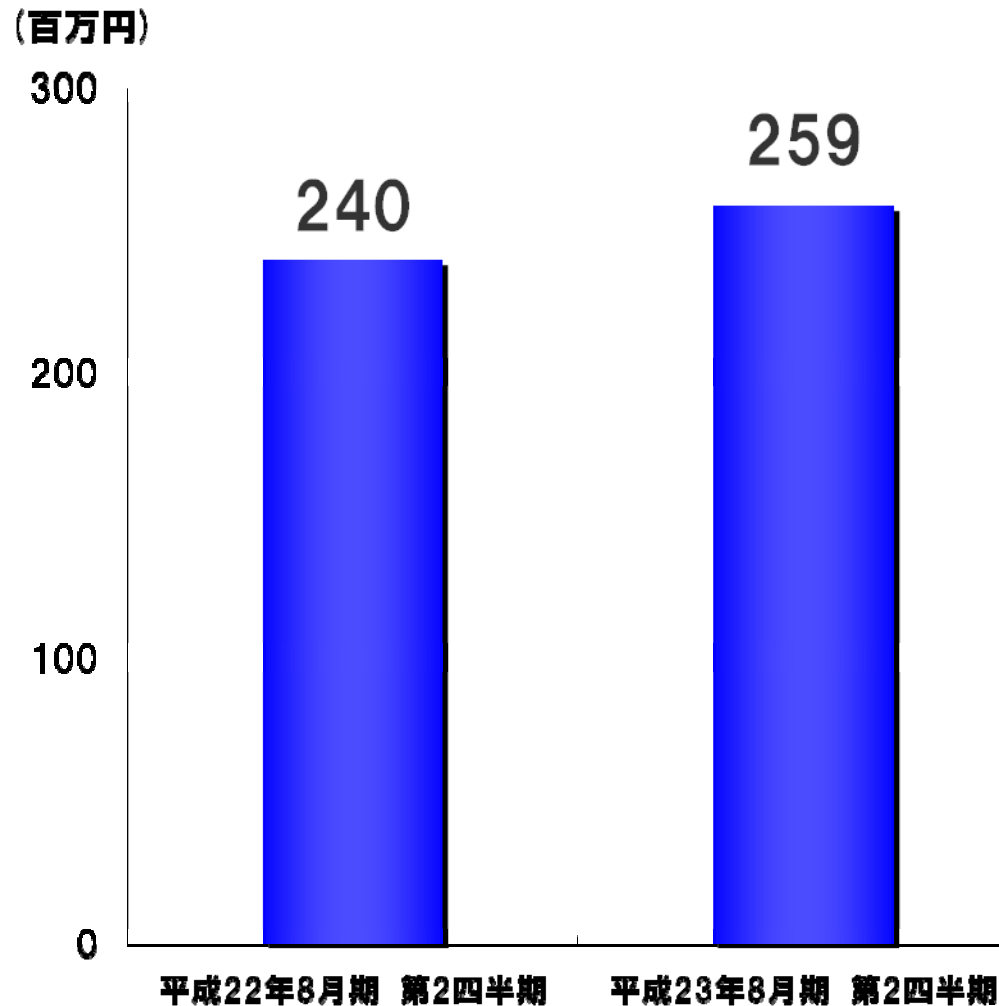
売上高推移



増加要因

- ◆ 新規引き合い増加傾向
-IT、ネット、製薬
- ◆ マーケティングPR分野の引き合いも幅広い業種で獲得
- ◆ 中国の受注が大幅に拡大
- ◆ 景気の持ち直しは緩やか。
国内企業の広報予算支出に対する慎重な姿勢は継続

営業利益の推移

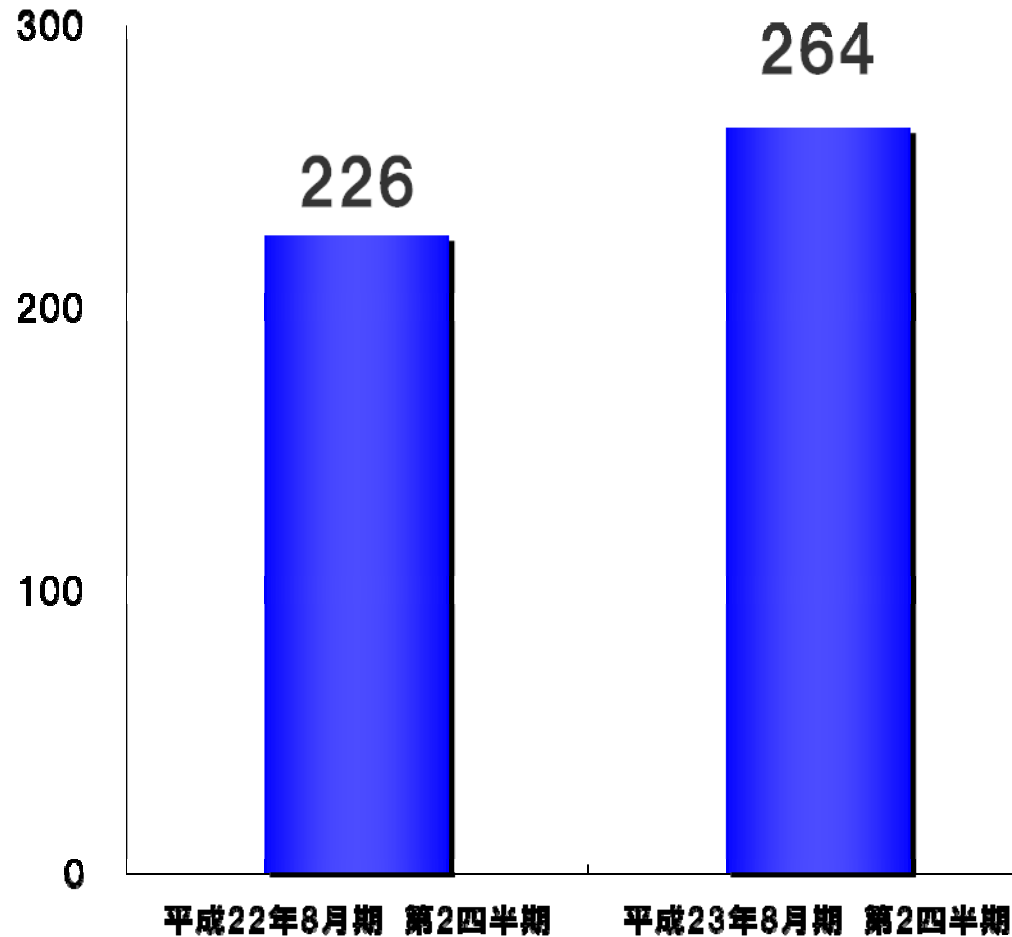


増加要因

- ◆ 売上の増加に加え、販売管理費を継続的に削減
- ◆ 中国事業による利益が大幅に増加

経常利益の推移

(百万円)

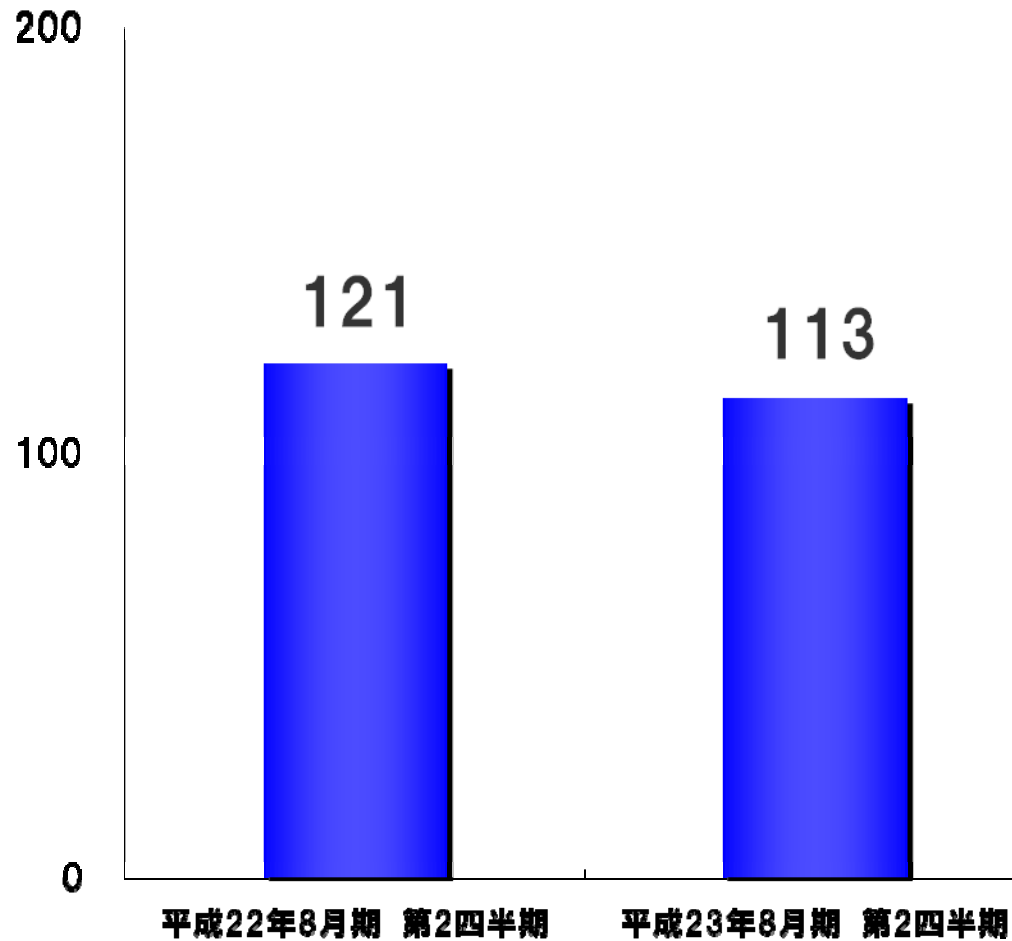


増加要因

- ◆ 営業利益の増益
- ◆ 投資有価証券評価損の改善
 - 前期14百万円から
当期 0百万円に改善

四半期純利益の推移

(百万円)



増加要因

- ◆ 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額31百万円を計上

平成23年8月期 第2四半期 連結業績の概況②

(単位:百万円)

	平成22年8月期 第2四半期実績	平成23年8月期 第2四半期実績	前期比
コミュニケーションサービス部門	1,812	2,036	+11.1%
クリエイティブサービス部門	175	108	▲30.2%

※前第2四半期連結累計期間にクリエイティブサービス部門に所属していた一部門が、第1四半期連結累計期間よりコミュニケーションサービス部門に異動となっております。それにともない前年同四半期比は、異動部門の前第2四半期連結累計期間売上高を組み替えた金額に対して算出しております。

部門別業績の概況

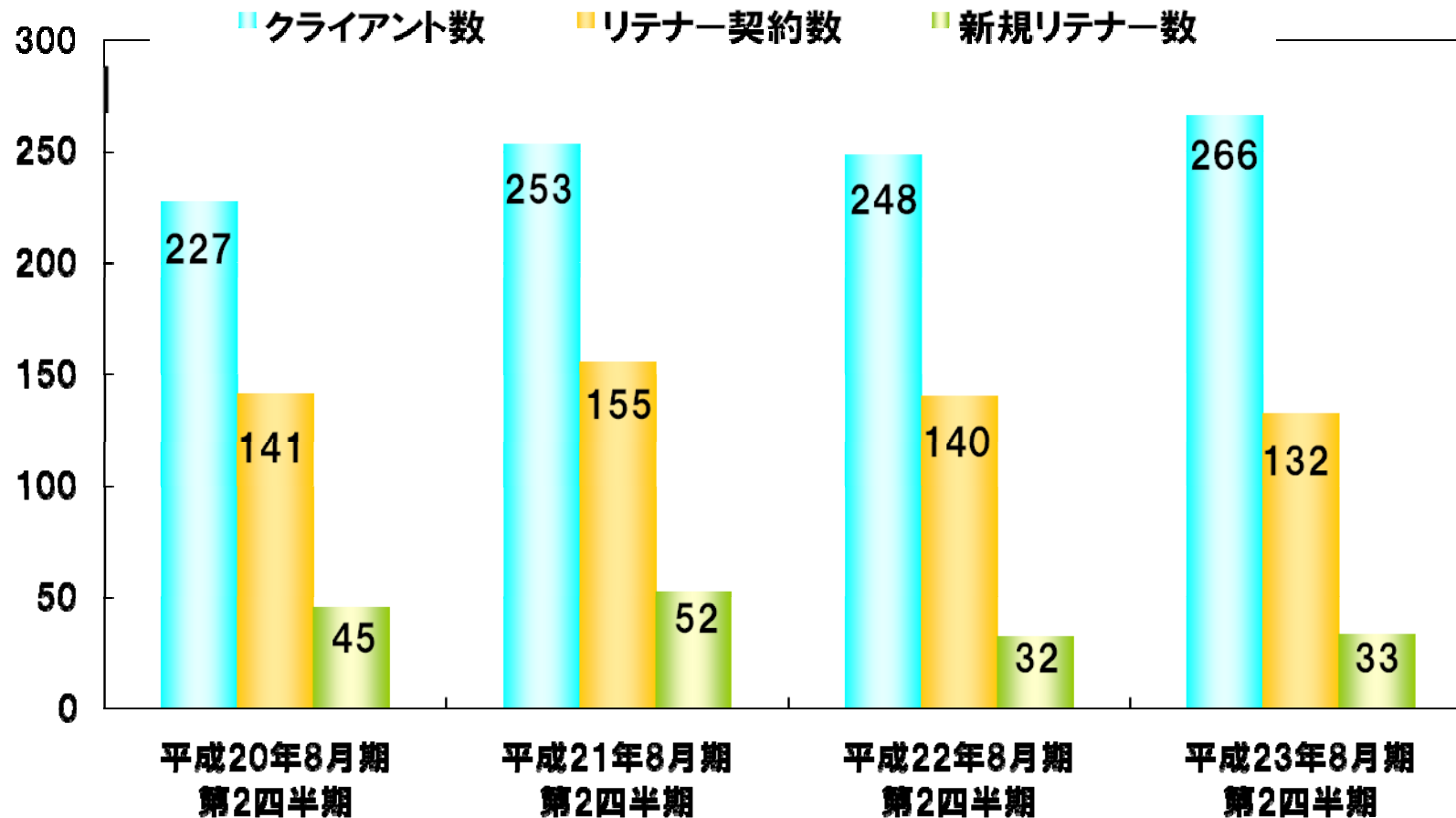
コミュニケーションサービス部門(CS)

- ◆業務引き合いの問合せ増加傾向—幅広い業種で引き合い
- ◆IT系やネット事業、製薬企業の受注に伸び
- ◆中国事業が大幅な伸び
 - 広州モーターショー、電器メーカーはじめ幅広い業種から受注

クリエイティブサービス部門(CR)

- ◆イベント業務は、外食企業の販促型イベント、食品や消費財メーカーの発表会、都市開発企業の展示会ブース制作などを受注
- ◆編集制作業務は、公営競技団体、コンサルティング会社、政府系輸入食肉団体、ヘルスケア関連会社の業務を受注
- ◆イベント業務の受注は全般的に減少が続く

営業活動の概況



クライアント数は増加傾向
新規リテナー数は前年並、プロジェクト業務増加傾向続く

平成23年8月期 下期戦略

震災による経済状況の推移を見極め

新規受注の強化および既存顧客への営業深耕を継続

中国事業の着実な受注実現

高付加価値・高収益型の新規事業/サービス開発

M & A及び業務提携契約の推進

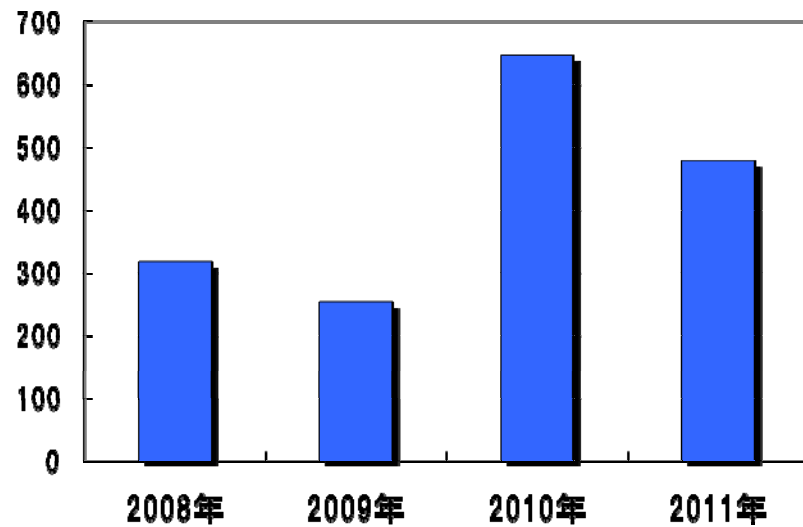
【参考】中国事業の業績推移

(単位：百万円)

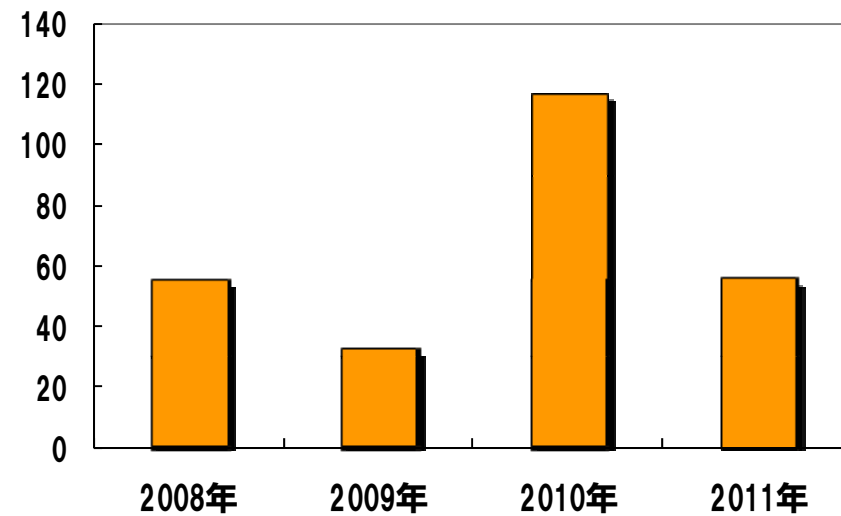
	2008年	2009年	2010年	2011年予想
売上高	315.3	249.8	643.9	476.0
経常利益	55.4	32.2	117.0	55.7

※2010年より北京博瑞九如公共関係顧問有限公司(通称:ブレインズチャイナ)を組入れ

■ 売上高



■ 経常利益



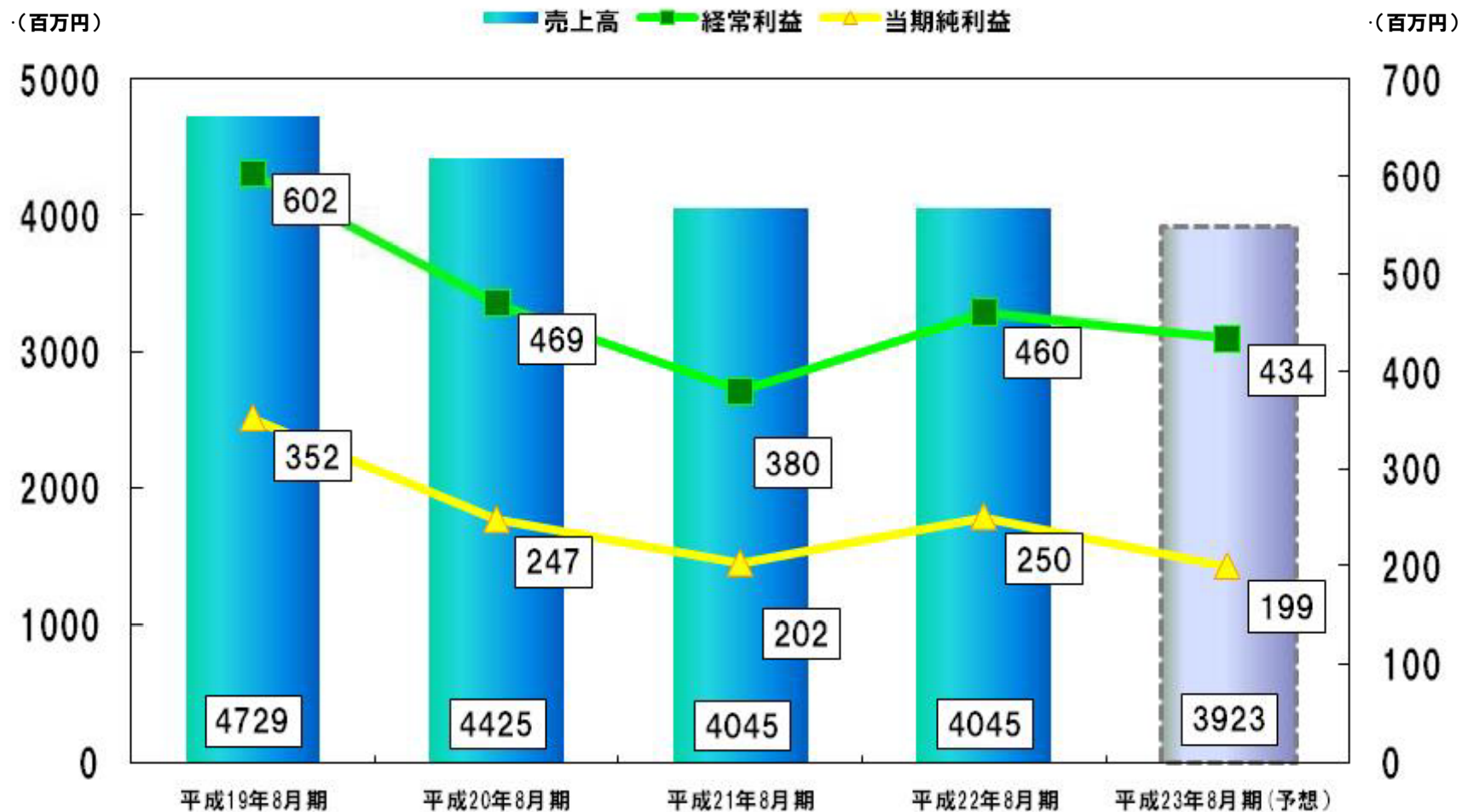
平成23年8月期 連結業績の見通し

(単位：百万円)

	平成22年8月期	平成23年8月期 (予想)	対前年比増減率
売上高	4,045	3,923	▲3.0%
営業利益	476	441	▲7.3%
経常利益	460	434	▲5.5%
当期純利益	250	199	▲20.1%

【参考】業績推移

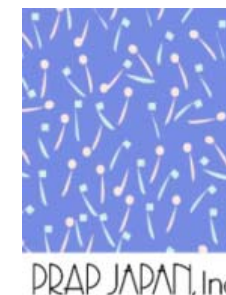
業績推移グラフ



プラップジャパンの概要

会社概要

- 創 立 1970年
- 資 本 金 4億7千万円
- 代 表 者 代表取締役社長 杉田 敏
- 本 社 東京都渋谷区渋谷2丁目
- 連結売上高 40億4,500万円(平成22年8月期)
- 連結従業員数 256名(平成23年2月末現在)



会社概要

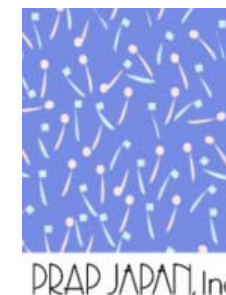
■ 連結子会社

- 北京普樂普公共関係顧問有限公司
(プラップチャイナ)
- 株式会社ブレインズ・カンパニー
- 株式会社旭エージェンシー
- 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司
(ブレインズチャイナ)

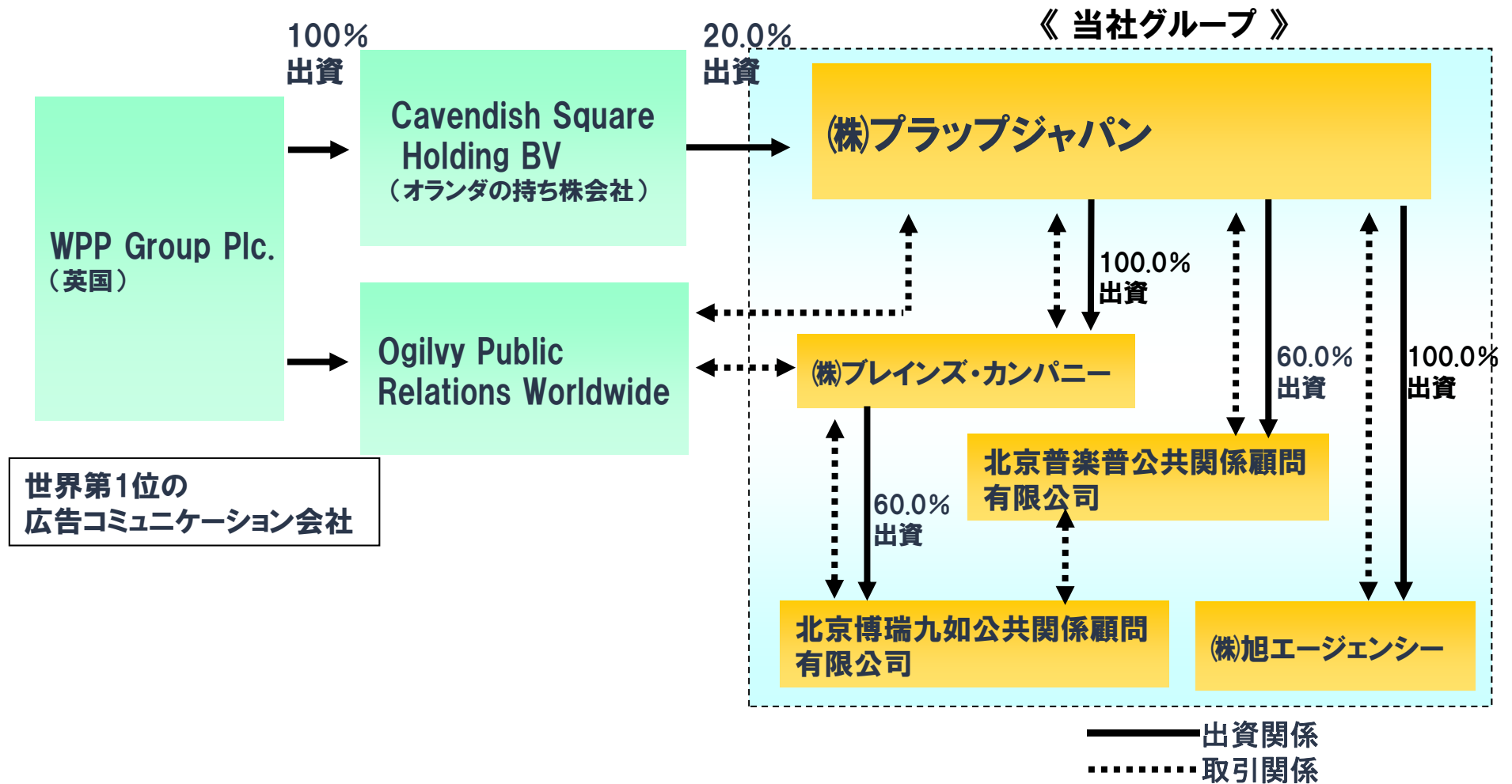
■ 資本・業務提携(海外ネットワーク)

- Ogilvy Public Relations Worldwide

■ 平成17年7月にJASDAQに上場



WPP Group Plc.との関係



プラップジャパンのサービスメニュー

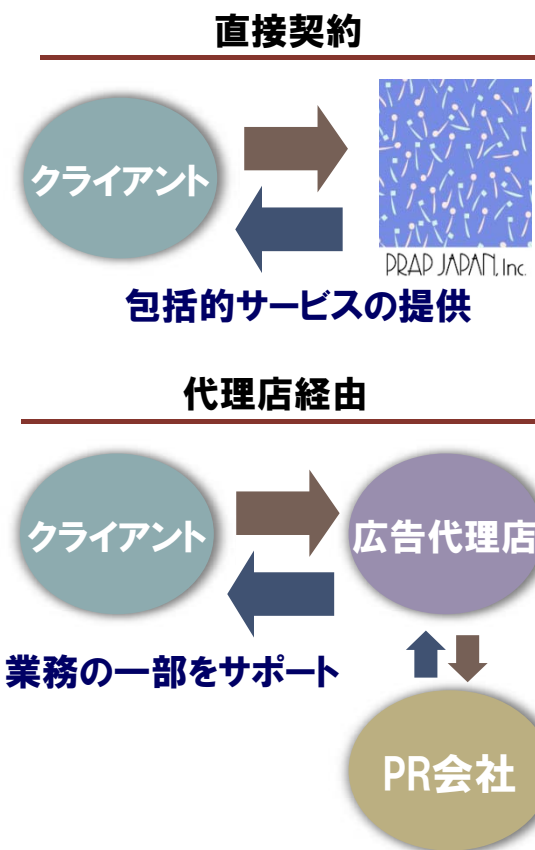
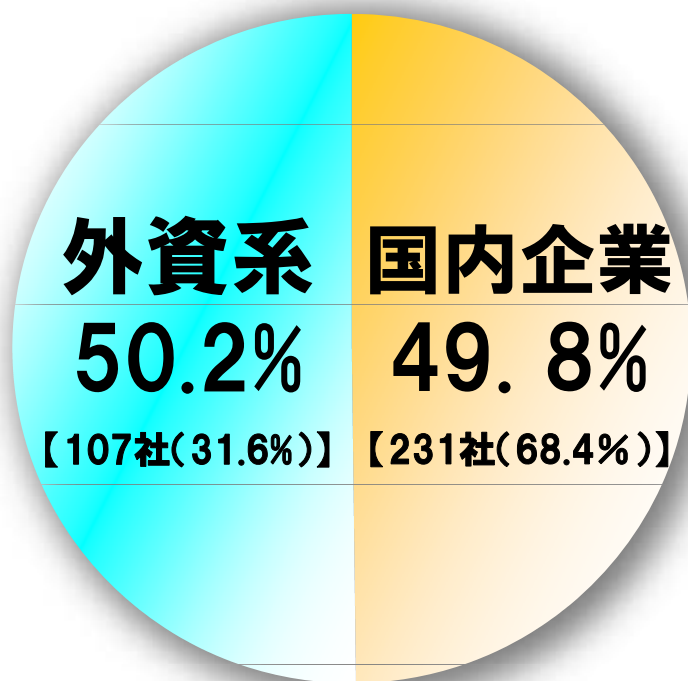
マーケティングPR	さまざまなコミュニケーション手法を駆使して、製品・サービスの認知度を向上。販売促進につなげ、企業のマーケティング活動をサポート。
コーポレートPR	マスメディアなどを通じて、経営トップの意思、企業戦略をステークホルダに訴求。企業価値を高め、競合優位性を確保。
企業IRサポート	上場企業とステークホルダーとの良好な関係づくりを支援。市場からの適切な企業評価につなげる。株式公開時のIR・PR活動、上場後のIR活動など。
M & A コミュニケーション支援	社内外のコミュニケーションを円滑化し、重要な企業戦略のひとつになりつつあるM&Aを成功に導く。
メディアトレーニング	1対1のインタビューから謝罪会見まで、他社にない実践的な内容でメディア対応を指導。
危機管理	平常時には、危機管理マニュアルの整備、Q&Aの準備や連絡網の整備、シミュレーション等を行い、発生後は発表の準備、情報収集などを行う。
官庁・自治体 公益法人PR	官庁・自治体のPRに加え、地元理解促進活動の支援・助言・コンサルティングを行い、市民との友好関係確立につなげます。

成長を支える高収益構造

経営戦略の一環として
コミュニケーションを重視する
外資系企業の売上比率が高い

直接取引がもたらす高い利益率
取引の約90%は直接契約

売上高比率
(平成22年8月期)



本資料お取扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。ご承知おきください。

・お問い合わせ

・株式会社プラップジャパン 広報・IR室

・TEL:03-3486-6831 E-mail:ir_info@ml.prap.co.jp